

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	1113 青山ふれあいフェスタ開催事業	会計	01	一般会計
		款	06	農林業費
		項	01	農業費
基本	43 伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	目	03	農業振興費
		細目	287	農業振興経費
行革大綱の重点事項番号		7	52	青山ふれあいフェスタ開催事業
担当部署	コード	750100	担当者	52 - 1114
	名称	青山支所 振興課	氏名	中山 良憲 連絡先 (内線)

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	農家、林家、農林業関係団体、商工業事業所・関係団体	※対象件数
成果(どうする)	農林産物をはじめ商工業関係事業所等のPR、製品等の販売の場の提供ができます。	
根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則	
開始年度	平成 17 年度	関連事業
終了年度	平成 22 年度	
H21 事業内容	ふれあいフェスタin青山実行委員会へ補助 開催日 平成21年10月17日(土) 会 場 青山ハーモニー・フォレスト 動員数 約3,500人(スタッフ等関係者を除く) 内 容 農産物朝市、木工品販売、農林産物や作業機械の展示と販売、商工関係事業所のPR、各種体験コーナー、フリーマーケット	
社会情勢の変化等	特になし	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
入場者数(スタッフ等関係者を除く)		人	目標 3000	目標 3200	3500	3500
			実績 3000	実績 3500		
出店ブース数		件	目標 45	目標 45	50	50
			実績 45	実績 51		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
入場者数(スタッフ等関係者を除く)		宣伝・PRがどれだけできたか測れます。	人	目標 3000	目標 3200	3500	3500
				実績 3000	実績 3500		
出店ブース数		どれだけ個人等が関わったかを測ることが地域振興への寄与の目安になります。	件	目標 45	目標 45	50	50
				実績 45	実績 51		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)	1,750	1,487	1,487	1,487	1,487	1,487	1,487	1,487
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	1,750	1,487	1,487	1,487	1,487	1,487	1,487	1,487
事業投入人件費(B)	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	1,440
フルコスト(A)+(B)	3,190	2,927	2,927	2,927	2,927	2,927	2,927	2,927

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
効果性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
達成度	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	
達成度	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
達成度	予算の繰越の有無 無	
達成度	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効果性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
効果性	【事業名】	
効果性	受益者負担を求められることができる事業である。	
効果性	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
効果性	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	市内他地区の同種イベントの統一を視野に入れつつ、地域の特性が引き出せるような手法を検討します。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 青山ハーモニー・フォレストを会場とし農業、林業、商工、自治関係の各団体が一同に会し、運営・実施した。51団体70区画の出店があり直売・展示等特産品・産業のPRが行われた。アトラクションでは、お楽しみ抽選会や太鼓演奏・サンバパレード等が行われた。臨時駐車場を設けシャトルバスで会場への集客をおこなった。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	藤原 四郎
【方向性】	現状維持
【理由】	年々集客数が増えている。今後も工夫をし継続する。
現時点における課題、その他	会場が青山ハーモニー・フォレストであり、駐車場が少なくシャトルバスに対応している。伊賀市民を呼び寄せることを考えたい。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	H22から市内全域に開催をポスター、チラシ等で周知する。内容に工夫を凝らし来場者に楽しんでもらう。